

子どものアトリエでは子どもの発達を造形としてどうとらえるかをテーマにした「教師のためのワークショップ」を開催しています。幼児の表現活動に必要なのは、「（自分が）自分でする」という“意志の育ち”です。自分が描く、自分でつくるから「自己表現」といい、幼児の造形活動は、この「自分」という意識の育ちが目的であるといえます。描きつくる活動は、目に見えない「子どもの思い」を見えるようにしてくれる優れた活動です。みなさんのご参加をお待ちしています。



紙のワークショップ例

対象

幼児、初等、養護教育に携わっている人
新人の先生大歓迎！

■表現への導き —“思い”を“かたち”に—

春から夏にかけての楽しい造形体験は、素材や道具に慣れることを目的とした継続的な活動の中で、技術・理解力がともなった“経験”として身につけていきます。成長する子どもの心に芽生える「私は、こうしたい」という気持ちは、このような能力の獲得により、“表現”へと変化します。夏期講座では、春期講座の展開編として、それぞれの成長段階の子どもの心のありようにそった活動例を、「描画」と「工作」を中心に実習します。

夏期講座は2日間の連続講座。1日だけのご参加も可能です

● 7月28日(土) 10:00~16:00

「えのぐ」と「クレヨン」

— “つける”ことから“描く”ことへ —

- 午前 ①楽しくつける、試す—色々な線や描き方の練習—
②クレヨンで描いてみよう
- 午後 ③色々な色をつくろう—絵の具で色をつくる練習—
④思っで描く、見て描く

● 7月29日(日) 10:00~16:00

紙工作と造形

— “思い”をかなえる“手”を育てる —

- 午前 ①造形あそびと工作についての演習
- 午後 ②道具の練習、活動例
③年少・年中・年長の作品紹介
④質問コーナー

■講座料 2日間で11,000円 1日参加は6,000円

■定員 各日50名(先着順)

■講師 三ツ山一志 (横浜市民ギャラリー 主席エディケーター)

山崎 優 (横浜美術館教育普及グループ長 主席エディケーター)

高徳早矢香 (同館教育普及グループ エディケーター)

■次回春期講座は入門編! 2019年3月23日(土)、24日(日)を予定しています。



えのぐのワークショップ例

お申し込み方法

FAXで受付けます。045-221-0317まで

子どものアトリエ係まで裏面FAXフォームにご記入のうえ送信してください。

お申し込み後に受講料の振込先などの詳細のプリントを郵送します。

ご不明な点は☎045-221-0315までお問合せください。(受付時間：10：00～18：00 木曜日は休館のため不在です)

※定員になり次第締め切らせていただきます。



横浜美術館 [公益財団法人横浜市芸術文化振興財団]

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1

TEL：045-221-0315 FAX：045-221-0317 <http://yokohama.art.museum>